



2022年11月10日

各 位

会 社 名 第一交通産業株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 田中亮一郎
 (コード番号 9035 福証)
 問い合わせ先 取締役 IR担当 垂水 繁幸
 (TEL 093-511-8840)

第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 第2四半期連結業績予想値と実績の差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 43,500	百万円 1,000	百万円 1,100	百万円 550	円 銭 16.15
実績値 (B)	42,587	704	1,419	856	25.14
増減額 (B-A)	△912	△295	319	306	—
増 減 率 (%)	△2.1	△29.5	29.1	55.7	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	41,032	△695	△120	△465	△13.67

2. 差異の理由

売上高につきましては、不動産分譲事業の竣工済物件の販売が好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響を受けたタクシー事業及びバス事業の移動需要の回復鈍化並びに不動産再生事業での大型物件の販売時期の繰り下げ等により、前回発表予想を僅かに下回りました。営業利益につきましては、上記要因により前回発表予想を下回りました。なお、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、長引く感染症に伴う地方公共団体等からの追加補助金及び燃料単価の高騰が続いているタクシー燃料(LPG)に対する新たな燃料費補助金を営業外収益に計上したことにより、前回発表予想を上回りました。

また、通期業績予想につきましては、下期に人の移動の需要回復が見込まれるものの、タクシー事業の2022年10月速報値の売上高は2019年10月比で88.3%の回復に留まるなど、感染症の再拡大や消費者の動向等により大きく変動する可能性を踏まえ、現時点では5月13日に公表しました業績予想を修正いたしません。今後の環境変化により修正の必要性が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上